

平成30年度目標  
(自己改革目標)

販売品販売高 96億円 農業融資残高 15億円

平成29年度実績

販売品販売高 92億円 農業融資残高 14.1億円

農業者の所得増大・農業生産の拡大	農業生産拡大のため、産地活性化と販売チャネルの拡充に取り組みます。		項目	目標	実績	結果	具体的な取り組み内容
	①推奨品種を中心に改植を推進し、柑橘園地の若返りに取り組みます。	改植面積数値	15ha	17.3ha	◎	◎	柑橘園地若返りのために、老木園4.2ha、不良系統園3.2ha合計7.4haの改植に取り組んだ。累積実績17.3ha(平成28年度9.9ha)
	②新たな販売先として、源吉兆庵に対する販売計画の実践に取り組みます。	くり	出荷量	28t	24t	○	栽培面積拡大のため苗木の新植事業を1.8ha取り組んだ。剪定班で7.4haの剪定を行った。
		もも	出荷量	3.3t	1.8t	×	吉兆桃園のうち39aで土壌改良に取り組むとともに、出荷量を増やすため、新たに17aの新植を行った。
③インターネット販売に取り組みます。	びわ	出荷量	0.5t	0.7t	◎	JAで管理している1.8haのびわ園の基本管理に取り組み、以降栽培を希望する人を募集し栽培者の選定を行っている。	
	取扱件数	900件	1,141件	◎	◎	新聞によるPRを行い、ネット販売に取り組んだ。	
食の安全安心と次世代の食農教育に取り組みます。	項目	目標	実績	結果	具体的な取り組み内容		
	①学校への食農教育出前講座開催や体験学習等の実施に取り組みます。	開催箇所	3校	18校	◎	小学校等へ営農指導員、青年部等が出向き、サツマイモ・水稲・みかん類の栽培方法を説明し植付、管理、収穫作業等の体験に取り組んだ。	
	②食の安全安心への取り組みとして、生産履歴記帳台帳の整備を行います。	生産履歴記帳台帳の回収率	100%	100%	◎	食の安全安心の構築のため、栽培講習会や出荷打合せ会等で生産履歴台帳への記入を周知し、台帳の回収に取り組んだ。	
生産資材におけるトータルコスト低減に取り組みます。	項目	目標	実績	結果	具体的な取り組み内容		
	①営農指導員と連携した栽培指導にあわせて予約注文率の向上を図ります。	生産資材予約注文率	55%	64.50%	◎	肥料の銘柄集約と共同購入による価格引下げに取り組んだ。肥料の銘柄集約においては、22.1%の価格引下げを行った。	
地域のくらしを守るJA事業・活性化支援に取り組みます。	項目	目標	実績	結果	具体的な取り組み内容		
	①農畜産物消費拡大や地域振興に結びつく、金融商品の企画販売に取り組みます。	金融商品の開発件数	1件	2件	◎	合併20周年記念農産物付定期貯金および県下統一商品農産物付定期貯金「えひめのめぐみ」の販売を行った。	
	②移動購買車の導入により、地域の生活を支えます。	移動購買車保有台数	4台	4台	◎	移動購買車を増車するとともに、Aコープの商品(惣菜等)を搭載し、商品の充実を図った。	

JAえひめ南は自己改革をすすめ、めざす姿の実現に向けた取り組みを加速化していきます！

①持続可能な農業の実現

消費者の信頼にこたえ、安全で安心な国産農畜産物を持続的・安定的に供給できる地域農業を支え、農業者の所得増大を支える姿。

②豊かでくらしやすい地域社会の実現

総合事業を通じて地域の生活インフラ機能の一翼を担い、協同の力で豊かでくらしやすい地域社会の実現に貢献している姿。

③協同組合としての役割発揮

次世代とともに、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、存立している姿。

|

|